



2022年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2021年8月3日

上場会社名 株式会社中京銀行 上場取引所 東 名
 コード番号 8530 URL <https://www.chukyo-bank.co.jp/>
 代表者 (役職名) 取締役頭取 (氏名) 小林 秀夫
 問合せ先責任者 (役職名) 常務執行役員総合企画部長 (氏名) 早川 誠 TEL 052-249-1613
 四半期報告書提出予定日 2021年8月11日 配当支払開始予定日 —
 特定取引勘定設置の有無 無
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2022年3月期第1四半期の連結業績（2021年4月1日～2021年6月30日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	経常収益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2022年3月期第1四半期	6,613	△21.9	955	311.6	359	107.5
2021年3月期第1四半期	8,459	10.5	232	△62.3	173	△60.7

(注) 包括利益 2022年3月期第1四半期 1,762百万円 (△49.4%) 2021年3月期第1四半期 3,478百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2022年3月期第1四半期	16.54	16.45
2021年3月期第1四半期	8.00	7.94

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2022年3月期第1四半期	2,210,588	111,988	5.0
2021年3月期	2,107,003	110,691	5.2

(参考) 自己資本 2022年3月期第1四半期 111,727百万円 2021年3月期 110,392百万円

(注) 「自己資本比率」は、(期末純資産の部合計-期末新株予約権)を期末資産の部合計で除して算出しております。
 なお、本「自己資本比率」は、自己資本比率告示に定める自己資本比率ではありません。

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2021年3月期	—	20.00	—	20.00	40.00
2022年3月期	—	—	—	—	—
2022年3月期(予想)	—	20.00	—	20.00	40.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2022年3月期の連結業績予想（2021年4月1日～2022年3月31日）

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	100	△94.0	△1,500	—	△69.10
通期	0	△100.0	△2,500	—	△115.17

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2022年3月期1Q	21,745,958株	2021年3月期	21,745,958株
② 期末自己株式数	2022年3月期1Q	4,210株	2021年3月期	30,473株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2022年3月期1Q	21,738,091株	2021年3月期1Q	21,680,208株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている事業見通し等の将来に関する記述は、当行が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

【添付資料】

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	4
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	4
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	5
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	6
(継続企業の前提に関する注記)	6
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	6
(会計方針の変更)	6
3. 2022年3月期 第1四半期決算短信説明資料	7
(1) 損益の状況【単体】	7
(2) 金融再生法ベースのカテゴリーによる開示【単体】	8
(3) 自己資本比率(国内基準)	8
(4) 有価証券の評価損益【単体】	8
(5) 預金・貸出金の残高【単体】	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間における我が国の経済は、新型コロナウイルス感染症の影響により、景気は依然として厳しい状態にあります。輸出の緩やかな増加や生産の持ち直しが続いており、企業収益についても持ち直しの動きとなっております。

当地区におきましても、雇用や所得環境に弱い動きがみられるものの、輸出や生産が増加基調にあり、景気の持ち直しが続いております。

金融情勢につきましては、企業等の資金繰り支援と金融市場の安定を維持するため、日本銀行が長短金利操作付き量的・質的金融緩和の継続など金融緩和を強化しており、長期金利はプラス0.03%～プラス0.12%の範囲で推移しました。また、翌日物金利は、マイナス0.05%～マイナス0.01%の範囲で推移しました。

このような経済金融情勢の下、当第1四半期連結累計期間の当行グループの連結経営成績は次のとおりとなりました。

経常収益は、貸出利息や役務取引等収益が増加したものの、株式等売却益の減少などにより、前年同期比18億46百万円減少の66億13百万円となりました。経常費用は、国債等債券売却損や貸倒引当金繰入額の減少などにより、前年同期比25億68百万円減少の56億58百万円となりました。その結果、経常利益は前年同期比7億23百万円増加の9億55百万円となりました。

2021年4月にスタートさせた第18次中期経営計画に基づき、経営資源を戦略拠点に再配分し収益性と効率性を更に高めるため7カ店の店舗内店舗方式による移転・統廃合を決定したことなどにより、特別損失5億44百万円を計上し、親会社株主に帰属する四半期純利益は前年同期比1億86百万円増加の3億59百万円となりました。

(2) 財政状態に関する説明

資産の部では、貸出金は、新型コロナウイルス感染症により影響を受けた法人のお客さまへの資金面でのご支援が続いたものの、資金需要の最も高まる年度末と比較して、期中において返済等が進んだことにより、前年度末比87億円減少し、1兆5,271億円となりました。また有価証券は、受益証券の増加などにより、前年度末比16億円増加の4,324億円となりました。

一方、負債の部では、預金は、法人のお客さまを主体に減少し、前年度末比38億円減少の1兆8,875億円となりました。純資産の部では、その他有価証券評価差額金の増加などにより、前年度末比12億円増加し1,119億円となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2022年3月期の第2四半期連結累計期間および通期の連結業績予想につきましては、2021年5月13日に公表の数値から変更ありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2021年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2021年6月30日)
資産の部		
現金預け金	92,026	211,201
有価証券	430,763	432,428
貸出金	1,535,869	1,527,127
外国為替	15,931	7,564
その他資産	15,288	15,429
有形固定資産	18,419	18,473
無形固定資産	1,814	1,710
退職給付に係る資産	2,943	3,076
繰延税金資産	387	376
支払承諾見返	2,813	2,597
貸倒引当金	△9,255	△9,400
資産の部合計	2,107,003	2,210,588
負債の部		
預金	1,891,435	1,887,582
譲渡性預金	5,310	5,310
債券貸借取引受入担保金	—	46,725
借入金	56,300	124,000
外国為替	22	38
社債	5,000	5,000
その他負債	27,636	19,389
賞与引当金	622	335
退職給付に係る負債	149	129
睡眠預金払戻損失引当金	149	144
偶発損失引当金	492	467
繰延税金負債	3,842	4,391
再評価に係る繰延税金負債	2,537	2,488
支払承諾	2,813	2,597
負債の部合計	1,996,311	2,098,600
純資産の部		
資本金	31,844	31,844
資本剰余金	23,994	23,994
利益剰余金	35,211	35,187
自己株式	△78	△10
株主資本合計	90,973	91,016
その他有価証券評価差額金	14,393	15,852
繰延ヘッジ損益	△650	△703
土地再評価差額金	5,407	5,295
退職給付に係る調整累計額	269	267
その他の包括利益累計額合計	19,419	20,710
新株予約権	299	260
純資産の部合計	110,691	111,988
負債及び純資産の部合計	2,107,003	2,210,588

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第1四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年6月30日)
経常収益	8,459	6,613
資金運用収益	4,869	4,915
(うち貸出金利息)	3,150	3,434
(うち有価証券利息配当金)	1,694	1,448
役務取引等収益	1,125	1,509
その他業務収益	951	81
その他経常収益	1,513	107
経常費用	8,226	5,658
資金調達費用	281	218
(うち預金利息)	59	40
役務取引等費用	515	533
その他業務費用	1,970	12
営業経費	4,493	4,433
その他経常費用	966	460
経常利益	232	955
特別利益	—	—
特別損失	0	544
固定資産処分損	0	0
減損損失	—	544
税金等調整前四半期純利益	232	410
法人税、住民税及び事業税	17	159
法人税等調整額	41	△108
法人税等合計	58	50
四半期純利益	173	359
親会社株主に帰属する四半期純利益	173	359

(四半期連結包括利益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年6月30日)
四半期純利益	173	359
その他の包括利益	3,305	1,403
その他有価証券評価差額金	3,556	1,458
繰延ヘッジ損益	△267	△52
退職給付に係る調整額	15	△2
四半期包括利益	3,478	1,762
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	3,478	1,762

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

1. 収益認識に関する会計基準等の適用

「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号 令和2年3月31日。以下、「収益認識会計基準」という。)等を当第1四半期連結会計期間の期首から適用し、約束した財またはサービスの支配が顧客に移転した時点で、当該財またはサービスと交換に受け取ると見込まれる金額で収益を認識することといたしました。

収益認識会計基準等の適用については、収益認識会計基準第84項ただし書きに定める経過的な取扱いに従っており、当第1四半期連結会計期間の期首より前に新たな会計方針を遡及適用した場合の適用初年度の累積的影響額を、当第1四半期連結会計期間の期首の利益剰余金に加減し、当該期首残高から新たな会計方針を適用しております。

この結果、当第1四半期連結累計期間の連結財務諸表に与える影響は軽微であります。

2. 時価の算定に関する会計基準等の適用

「時価の算定に関する会計基準」(企業会計基準第30号 令和元年7月4日。以下、「時価算定会計基準」という。)等を当第1四半期連結会計期間の期首から適用し、時価算定会計基準第19項および「金融商品に関する会計基準」(企業会計基準第10号 令和元年7月4日)第44-2項に定める経過的な取扱いに従って、時価算定会計基準等が定める新たな会計方針を、将来にわたって適用することといたしました。なお、当第1四半期連結累計期間の連結財務諸表に与える影響はありません。

3. 2022年3月期 第1四半期決算短信説明資料

(1) 損益の状況【単体】

・経常収益<1行目>

国債等債券売却益や株式等売却益の減少を主因として、経常収益は、前年同四半期比**18億61百万円**減少の**64億35百万円**となりました。

・コア業務純益<13行目>

有価証券利息配当金は減少したものの、貸出金利息や役務取引等利益が増加したため、コア業務純益は、前年同四半期比**5億71百万円**増加の**12億42百万円**となりました。

・経常利益<22行目>

コア業務純益の増加に伴い、経常利益は前年同四半期比**5億53百万円**増加の**8億82百万円**となりました。

・四半期純利益<28行目>

四半期純利益は、2021年4月スタートの第18次中期経営計画に基づく構造改革として7カ店の店舗統廃合を決定したことなどにより特別損失(減損損失)5億44百万円を計上したものの、前年同四半期比**43百万円**増加の**2億98百万円**となりました。

(単位：百万円)

(単位：百万円)

		前年同四半期 (2021年3月期 第1四半期)	当四半期 (2022年3月期 第1四半期)	比較	中間予想 (2022年3月期 中間期)	通期予想 (2022年3月期)
経常収益	1	8,296	6,435	△1,861		
業務粗利益	2	3,960	5,515	1,555		
資金利益	3	4,582	4,691	109		
うち貸出金利息	4	3,139	3,424	285		
うち有価証券利息配当金	5	1,698	1,453	△245		
役務取引等利益	6	443	803	360		
その他業務利益	7	△1,065	20	1,085		
経費(除く臨時処理分)	8	4,337	4,272	△65		
人件費	9	2,222	2,194	△28		
物件費	10	1,690	1,656	△34		
税金	11	424	421	△3		
業務純益(一般貸倒繰入前)	12	△377	1,242	1,619		
コア業務純益	13	671	1,242	571	1,700	2,700
コア業務純益(除く投資信託解約損益)	14	507	856	349		
一般貸倒引当金繰入(①)	15	57	△52	△109		
業務純益	16	△435	1,295	1,730	0	900
うち国債等債券損益(5勘定戻)	17	△1,049	0	1,049		
臨時損益	18	764	△412	△1,176		
うち株式等関係損益	19	1,427	52	△1,375		
うち不良債権処理額(②)	20	570	276	△294		
うち貸倒引当金戻入益(③)	21	-	-	-		
経常利益	22	329	882	553	400	500
特別損益	23	△0	△544	△544		
税引前四半期純利益	24	328	338	10		
法人税、住民税及び事業税	25	8	159	151		
法人税等調整額	26	64	△119	△183		
法人税等合計	27	72	40	△32		
四半期(当期)純利益	28	255	298	43	△1,100	△1,900
与信関係費用(①+②-③)	29	628	223	△405		

(2) 金融再生法ベースの категорияによる開示【単体】

金融再生法ベースの開示債権は、前年同四半期比22億円増加し、275億円となりました。
総与信に占める割合は、前年同四半期比0.03ポイント上昇し、1.78%となりました。

(単位：百万円)

	2020年6月末	2021年6月末	比較	(参考) 2021年3月末
破産更生債権及びこれらに準ずる債権	8,953	9,349	396	9,371
危険債権	11,609	12,971	1,362	12,071
要管理債権	4,733	5,248	515	5,285
合計 (A)	25,296	27,569	2,273	26,728
正常債権	1,416,842	1,520,622	103,780	1,530,021
総与信合計 (B)	1,442,138	1,548,192	106,054	1,556,750
総与信に対する割合 (A/B)	1.75%	1.78%	0.03%	1.72%

(3) 自己資本比率 (国内基準)

自己資本比率(国内基準)は、単体で2021年3月末比0.12ポイント上昇し8.45%、連結で同0.12ポイント上昇し8.65%となりました。

(単位：百万円、%)

	2021年6月末		(参考)2021年3月末	
	単体	連結	単体	連結
(1) 自己資本比率 (2) / (3)	8.45%	8.65%	8.33%	8.53%
(2) 自己資本の額	91,392	93,942	91,330	93,844
(3) リスク・アセットの額	1,081,516	1,085,319	1,095,242	1,099,283
(4) 所要自己資本額 (3) × 4%	43,260	43,412	43,809	43,971

(4) 有価証券の評価損益【単体】

有価証券の評価損益は、前年同四半期比88億円増加し、220億円の評価益となりました。

(単位：百万円)

	2020年6月末			2021年6月末			(参考) 2021年3月末		
	評価損益			評価損益			評価損益		
		うち益	うち損		うち益	うち損		うち益	うち損
その他有価証券	13,217	17,751	4,534	22,079	23,496	1,417	19,976	21,815	1,838
株式	11,294	11,585	291	14,293	14,429	135	14,426	14,512	86
債券	1,320	2,039	719	1,341	1,686	344	728	1,533	805
その他	602	4,125	3,523	6,444	7,381	936	4,822	5,769	947

(5)預金・貸出金の残高【単体】

預金は、前年同四半期比227億円増加し1兆8,930億円となりました。
貸出金は、前年同四半期比1,064億円増加し1兆5,267億円となりました。

(単位：百万円)

	2020年6月末	2021年6月末	比較	(参考) 2021年3月末
預 金 (未 残)	1,870,382	1,893,097	22,715	1,897,423
うち個人預金	1,186,791	1,215,342	28,551	1,214,421
貸 出 金 (未 残)	1,420,305	1,526,790	106,485	1,535,569
うち消費者 ロ	423,391	427,771	4,380	427,273

(参考) 預かり資産残高 (法人含む) 【単体】

(単位：百万円)

	2020年6月末	2021年6月末	比較	(参考) 2021年3月末
投 資 信 託	58,561	69,165	10,604	65,593
公 共 債	1,777	1,898	121	1,877
保 険	178,738	189,741	11,003	186,609
外 貨 預 金	4,009	5,233	1,224	5,406
合 計	243,085	266,037	22,952	259,485